



安全マップ完成！町へ提言

生活委員会を中心に、PTAや学区内小学校とも協力して作成を進めていた「矢巾北中学校区デジタル安全マップ」が、ついに完成しました。今年度導入されたタブレットを活用しての作成に苦戦するところもありましたが、そこはデジタルネイティブの皆さんですので、すぐに手順を覚えてあっという間に完成させました。完成後は、安全対策として緊急度の高い場所を絞り込み、①スマートインター付近交差点と②不来方高校付近交差点への信号機または横断歩道の設置を要望することを決めました。昨日、生活委員長の掛川凛太郎さんと副校長が役場の総務課に赴き、要望書を手渡してきました。総務課長さんからは、「中学生の視点で危険箇所を指摘してもらえたのはありがたい。要望が通るように働きかけたい。」とのお言葉をいただきました。今回の取り組みは、2月2日に予定されている「復興教育発表会」で発表する予定です。（残念ながら県民会館での開催は中止となりました。校内での発表風景をビデオ録画し、後日他校の発表とともにDVDに収録され県内各校に配布されます。）中学生が地元の交通施策に関心を持ち、自らの意見を発信していくことは、キャリア教育の観点からも非常に有意義なことだと考えます。今回の取り組みを参考に、他分野での取り組みも期待したいと思います。



まだまだ北中生の活躍です！

北中生の善行に対して、下記のようなお手紙をいただきました。早速、全校生徒にお知らせしたところ、2年4組の嵯峨諒也さんと八幡匠哉さんが名乗り出てくれました。状況を聞くと、声をか

北中生の皆さまに感謝いたします。
1月21日(金)の朝、雪道で脱輪してしまい
車が傾いてしまったところを
矢巾北中の男子生徒2人が駆け寄り来てくれて
「大丈夫ですか?」と声をかけてくれました。
困っていたところ、声をかけられ
とても心強かったです
ありがとうございます。



けただけでなく、一緒に車を押して脱出させてくれたそうです。登校時の時間のないところで、困っている方に進んで手を貸す行動は、素晴らしいと思います。「情けは人のためならず」のことわざの通り、巡り巡って自分に良い報いが返ってくるはずです。

身近に困っている人がいたら、危険が無いことを前提に、可能な範囲で手を貸してあげましょう。